

5期生ファイナルプレゼン

永長千晴

1月25日、5期生のファイナルプレゼンが行われました！5期生それぞれが、自身の生い立ちから宮川ゼミでの成長、今後の抱負などを話してくださいました。いつもカッコいい先輩方ですが、この時はいつにも増してキラキラしていました。

初めに、落研に所属しているさめさんが落語調でのプレゼンをされました。着物で登場し、机の上に置いた座布団に正座するというエンターテイメント性の高さに思わずみんな笑顔になりました。

どのプレゼンも、宮川ゼミで過ごした2年間で、そしてそれぞれの人柄が詰まっています、聞いていて胸が熱くなりました。



印象的だったのは、プレゼンの随所で、苦しい時、宮川先生からかけていただいた言葉が取り上げられていたことです。先生の言葉が先輩方の心の支えとなり、悩んでいる時に背中を押してくれたそうです。ゼミ生に対する先生の愛と、その存在の大きさを感じました。

憧れの先輩方が今に至るまで、何もかも順風満帆だったわけではなく、幾度も挫折を乗り越え、理想の姿に向かって日々努力してきた、その様子を話していただきました。

話を聞いて、大切なのは、自分で自分を評価し努力することだと気付きました。就活を控えた私



たち6期生は、今後無意識に他人と自分を比較して、一喜一憂してしまうかもしれません。しかし、そんなときはこの日を思い出して、自分らしく頑張ろうと思います。先輩方のメッセージを受けて、あと1年間、宮川ゼミで全てを吸収しようという気持ちがさらに強くなりました。

その後の飲み会も和気あいあいとした雰囲気、先輩方が宮川ゼミに入りたての頃の話など、思い出話に花が咲きました。学年は違っても、全員が宮川ゼミの仲間であるという一体感は、とても心地よいものでした。

